

第2次亀山市環境基本計画（中間見直し）骨子案に対する意見への回答

【個別意見】

番号	該当 ページ	項目	意見	回答
1	全体		専門用語の注釈を明記すべきである。	注釈を明記します。
2	3	第3章「共生」：人と自然の共生 〈取り組むべき課題〉 2番目の◆	何の保全が困難か主語を明記すべきである。 また、保全が困難であるとしているのに、保全が必要とはどのような事か。 内容を精査すべきである。	主語（森林・農地）を明記 します。鈴鹿川等源流域の ような自然性の高い地域の 森林・農地は水源涵養や災 害防止など多面的機能を発 揮させるための保全が必要 です。
3	6	第6章「脱炭素」：脱炭素社会の構築 〈取り組むべき課題〉 5番目の◆	「創出に取り組めます」と課題の表現になっていない。	課題の表現として、「Jー クレジットの創出に組み 組む必要があります。」に改 めます。

第2次亀山市環境基本計画（中間見直し）骨子案に対する意見への回答

【個別意見】

番号	該当 ページ	項目	意見	回答
4	3, 6	第2章基本構想 第6章「脱炭素」：脱炭素社会の構築	令和8年6月議会で、市長は一般家庭や企業の再生可能エネルギーの導入推進について、積極的な導入から慎重に進めると、舵を切ることを示した。大きな施策変化に関し、特に第6章において、どう見直しするのか明確な説明が無い。 なお、第6章が大幅な変更が求められる中でも基本構想に変化が無いのは理解できない、説明するべきである。	一般家庭や市内企業が再生可能エネルギーを導入することで、温室効果ガスの削減につながり環境負荷の低減に貢献することから、引き続き再生可能エネルギーの導入・活用を促進していく必要性はあるものと考え、見直しの方向性はありません。 太陽光発電施設を取り巻く状況は、変化しつつある中で、それぞれの状況を見極め、慎重かつ適正に進める必要があるものと考えていることから、基本構想については現計画を踏襲することとしています。